



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日
東

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所
 コード番号 8138 URL <http://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,936	6.7	△26	—	9	△80.9	△10	—
2019年3月期第1四半期	5,565	△0.0	11	△77.3	52	△43.2	56	4.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △158百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 61百万円(△76.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△7.92	—
2019年3月期第1四半期	43.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,115	9,657	56.3
2019年3月期	17,743	9,776	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,628百万円 2019年3月期 9,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	42.50	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	6.1	35	△46.2	85	△35.1	35	△85.4	26.47
通期	25,200	5.8	270	8.3	360	2.4	220	△35.4	169.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,560,000株	2019年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	224,810株	2019年3月期	263,737株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	1,309,197株	2019年3月期1Q	1,296,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続したものの、米中貿易摩擦問題の長期化や中東情勢の緊迫など、国際情勢による懸念材料が強まるなかで推移しました。

このような状況の下、当社グループは、お客さま本位の積極的な営業活動に注力するとともに、市場の変化を先取りした提案型営業活動の推進など、営業施策の強化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は59億3千6百万円（前年同期比6.7%増）と増収となりましたが、販売費及び一般管理費の大幅な増加（前年同期比12.3%増）により、営業損失は2千6百万円（前年同期は営業利益1千1百万円）、経常利益は9百万円（前年同期比80.9%減）と、大幅減益となりました。販売費及び一般管理費増加の主な要因は、基幹業務新システムの本番移行に伴う減価償却の開始、東京支社移転に伴う一時的費用の発生、及び昨年8月にタイに設立した合弁会社SY RUBBER (THAILAND)社の初期運営費用であります。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、1千万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5千6百万円）で、前年同期は投資有価証券売却による特別利益4千9百万円があったため、大幅減益となりました。

なお、東京支社は2019年7月29日に、従来と同じ中央区新川1丁目の“SHINKAWA EAST”ビル内の新事務所への移転を完了しております。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、中部縦貫自動車道等のインフラ工事関連で地盤改良用のセメント添加薬剤が増加したほか、コンクリート関連顧客向け添加剤の新規納入、新規設備設置などにより、一巡化した地盤強化用パイル製造用薬剤等の減少を上回り増収となりました。

建材資材関連分野では、首都圏の再開発やマンション、ホテルの大型建築工事が人手不足による遅れや、工法の簡素化、受注単価の低下による使用部材変更の影響などから、内装材の化粧材や壁紙等が低調で同用途のフィルムや薬剤が減少しました。他方、建材ボード用工程薬剤が伸長、昨年低調であった塗料関連薬剤、発泡断熱システム用薬剤が持ち直したことにより増収となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、自動車の電子化の拡大を背景に電子部品生産が好調なことから自動車用部品の伸長、リチウムイオン電池用途での放熱材料も堅調に推移し、一部半導体封止用樹脂や精密洗浄剤の減少等を補い増収となりました。

輸送機器関連分野では、オートバイの国内生産の縮小や一部の成型樹脂や車体用防振樹脂等は減少しましたが、安全装置用途の電装部材の伸長、環境規制強化による排気ガス浄化関連薬剤の新たな採用があったことから増収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、訪日外国旅行者によるインバウンド効果も一段落し化粧品関連薬剤の販売は従来並みに戻りつつあります。他方、高品質が評価されている眼鏡レンズの輸出が好調で同用途の機能性コート剤や化学品が伸長し増収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品等包装用途の拡大により防曇性やガスバリア性、低温耐ピンホール性などを有する高機能性フィルムは堅調に推移しましたが、食品用軟質包装用フィルムの価格競争の激化もあって苦戦し、減収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、繊維の国内加工の縮小が続くなか、衣料用の染色整理用染料や染色助剤は低位安定納入となり、ほぼ前年並みに推移しました。

化学工業関連分野では、東南アジアから輸入の基礎化学品が引続き伸長、化粧品関連原料向け化学品も増加しましたが、中国の爆発事故による安全対策規制強化により輸入化学品の価格高騰や玉不足の影響が再発し、一部輸入化学品の受注が出来ず、ほぼ前年並みに推移しました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は49億4千9百万円（前年同期比7.1%増）と増収となりましたが、SY RUBBER (THAILAND)社を含む営業費用の増加を吸収しきれず、営業利益は6千9百万円（前年同期比4.7%減）と減益となりました。

[建装材事業]

プレハブ新築住宅の市況低迷が続いているため、既存の造作部材、樹脂製品、建具等の販売は低調に推移しましたが、キッチン及びオフィス関連の新規商材が好調なため増産対応し、既存商品の減少をカバーして増収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は9億8千7百万円（前年同期比4.8%増）と増収となりましたが、商品構成の悪化と販売経費増により、営業損失は4千万円（前年同期は営業損失1百万円）と、前年同期に比較して損失が拡大いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、4億5千8百万円減少し105億5千万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億9百万円、電子記録債権が2億6千8百万円減少し、商品及び製品が1億6千4百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、1億6千8百万円減少し65億6千5百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の投資有価証券が1億7千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、6億2千7百万円減少し171億1千5百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、4億3千5百万円減少し62億6千4百万円となりました。これは主に、買掛金が1億8千4百万円、未払法人税等が1億2千4百万円、その他に含まれる未払金が8千9百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、7千3百万円減少し11億9千2百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が6千9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、5億9百万円減少し74億5千7百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、1億1千8百万円減少し96億5千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億5千8百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年5月9日に公表した第2四半期累計期間の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,900	1,640,476
受取手形及び売掛金	6,635,899	6,226,031
電子記録債権	1,782,105	1,513,471
商品及び製品	793,589	957,797
仕掛品	84,922	53,111
原材料及び貯蔵品	75,973	62,504
その他	153,664	96,762
流動資産合計	11,009,055	10,550,156
固定資産		
有形固定資産	2,112,577	2,099,168
無形固定資産	229,502	224,167
投資その他の資産		
投資有価証券	4,225,957	4,051,145
退職給付に係る資産	36,704	33,618
その他	129,526	157,177
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,392,188	4,241,941
固定資産合計	6,734,269	6,565,277
資産合計	17,743,324	17,115,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,935,465	3,750,826
電子記録債務	2,110,161	2,081,432
短期借入金	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	34,988	30,115
未払法人税等	156,964	32,760
賞与引当金	63,456	23,562
役員賞与引当金	20,000	5,450
その他	374,646	340,654
流動負債合計	6,700,682	6,264,801
固定負債		
長期借入金	116,173	111,299
役員退職慰労引当金	286,579	289,272
退職給付に係る負債	2,494	2,626
その他	861,390	789,461
固定負債合計	1,266,636	1,192,658
負債合計	7,967,318	7,457,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,439,931	1,456,843
利益剰余金	5,500,686	5,435,220
自己株式	△535,795	△456,758
株主資本合計	8,121,421	8,151,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,584,568	1,426,322
土地再評価差額金	31,302	31,302
為替換算調整勘定	9,218	19,267
その他の包括利益累計額合計	1,625,090	1,476,891
非支配株主持分	29,494	29,177
純資産合計	9,776,005	9,657,974
負債純資産合計	17,743,324	17,115,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,565,123	5,936,644
売上原価	5,054,729	5,403,150
売上総利益	510,394	533,493
販売費及び一般管理費	498,545	559,818
営業利益又は営業損失(△)	11,849	△26,324
営業外収益		
受取利息	2,103	1,772
受取配当金	30,903	30,066
持分法による投資利益	3,070	2,085
仕入割引	939	1,065
その他	6,775	5,347
営業外収益合計	43,792	40,336
営業外費用		
支払利息	317	215
売上割引	1,200	1,175
為替差損	1,301	-
その他	657	2,633
営業外費用合計	3,477	4,024
経常利益	52,164	9,987
特別利益		
固定資産売却益	-	57
投資有価証券売却益	49,695	-
特別利益合計	49,695	57
特別損失		
投資有価証券評価損	-	413
特別損失合計	-	413
税金等調整前四半期純利益	101,860	9,632
法人税、住民税及び事業税	45,761	21,013
法人税等合計	45,761	21,013
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,098	△11,380
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,006
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	56,098	△10,374

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,098	△11,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,975	△158,246
為替換算調整勘定	△9,854	12,823
持分法適用会社に対する持分相当額	2,972	△2,086
その他の包括利益合計	5,093	△147,509
四半期包括利益	61,192	△158,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,192	△158,572
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,622,565	942,558	5,565,123	—	5,565,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,622,565	942,558	5,565,123	—	5,565,123
セグメント利益又は損失(△)	72,729	△1,678	71,051	△59,201	11,849

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,949,149	987,494	5,936,644	—	5,936,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,949,149	987,494	5,936,644	—	5,936,644
セグメント利益又は損失(△)	69,318	△40,539	28,778	△55,103	△26,324

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。